

12月のリフレクションシート

iP-Uでは、9月から12月まで様々な講座を開きました。12月に開講した13の講座をもって、iP-Uの選択科目Aは終了です。選択Aでの学びは、みなさんの中にどんな気づきを残しましたか。今回も12月のリフレクションシートからいくつか紹介します。

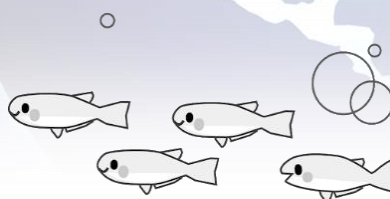
物質は何からできているかという素朴な疑問から、相対論的量子力学まで理解することができた。今日の授業を受けることで、自分が大学でどのような勉強をしたいのか分かってきた。 **粒子・反粒子と物質の起源**

映像が宙に浮いて見える技術の開発が、より良い社会を作るという未来図を知り、そのために必要な技術を開発することの大切さを知った。これからは、あったらいいなと考えるだけでなく、できることを行動に移していこうと思った。 **3Dディスプレイ実験**

実際に変異した花を観察してみて、日常ではありえないような光景に、とても興味が湧いたのと同時に、もっと植物と遺伝子の関係を調べてみたいと思うようになった。 **花の形を制御する遺伝子について**

研究する上で大切なのは、それが「自分にとって楽しいかどうか」だと思った。今日やったことは自分にとっては難しいことだったが、面白かった。 **マイコンによる電子回路**

実験の結果から疑問を持って、また実験するというような、リサーチの連鎖を知った。「そうだったのか」で終わらせることなく「だからこそ、なぜ？」ということを追いつめられるようになりたい。 **メダカのDNA鑑定**



「令和元年度 iP-U スクーリングならびに交流会」の中止のお知らせ

3月20日(金)に予定していましたが「令和元年度 iP-U スクーリングならびに交流会」は、新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大防止のため、開催中止を決定いたしました。

当日を楽しみにされていたみなさん、ご準備をいただいたみなさまには、残念なお知らせになってしまったことを心よりお詫び申し上げます。感染拡大防止のため、このような判断となりましたこと、ご理解いただきますようお願いいたします。

なお、2020年4月4日(土)に予定しております「令和元年度 iP-U 成果報告会・修了式」の開催の有無につきましては、改めてご連絡いたします。



編集後記

コロナウィルスを巡る情報に接しながら、科学的な正確さと、それを伝えること、それを受け取ることの難しさを感じています。原発事故のときもそうでした。もうすぐ3/11ですね。